



# 計算ができない 人の計算法



もきち

## 序文

まったく計算ができない人が対象です。9+8あるいは7+6が即答できる人は、採用しないでください。そのまま進んでください。これがわからないあるいは足し算引き算を前にして全く理解ができない人が対象です。一提案ですので、参考にしてください。すでに発表されているのかを調査していません。ではすみません。

## 準備

次の形から、5と即答できるのが理想ですが、数えていても大丈夫です。

|||  
||

||  
|||

||||  
|

|  
||||

できれば、

九九の5の段がいえると、楽です。でも逃げ道があるので安心してください。

実際の計算をしてみます。

一桁の足し算（二桁は、近日中に公開できるといいです。）

次のような場合には、数えるだけとなると思います。

たとえば、

2+3は ||| + || =5

でも5が絡んでくると、次のようにしたほうがいいのではないのでしょうか。

5+4=        + |||| = 5 と

6=|,7=|,8=|,9=|

このときに、|をかぞえて、4として、それに5を加えるのではなくて、5、6、7、8、9と数えるのがポイントです。

だんだんややこしくなるのが、

8+5や8+7,6+8,9+7といった場合で、

次のようにすると、いいのではないのでしょうか。

||| +        =        が二個で10、続いて縦棒を数える（連続して）

| 11,| 12,| 13と数える。

$8+5=13$

おなじように

$8+7=$  ||| + || = (10) と (ここで、縦書きにした前の準備のとおり、形で、5 とみるか、つまり15と即答するか) それでも無理なら、かぞえる (れんぞくして) ||||  
| (=11,12,13,14,15) によって、15というふうに。

このようにしていますが、

私の子供は、|の代わりに●を使っています。これは自由で、肝心なのは、数えること、そして、  
+ =10として、|を数えてください。

後、準備で述べましたように5の形を見抜くことができればいいのかと思います。

$8+9+6+5+8$ といった場合いかに|から5を見出し、その隣に をかければ後は消すだけです。

例

$8+9+6+5+8$

| | |  
| | | |  
|

| | |

次のようになります。

左側を上段から見えていって、

+++

++=

++

|

+++ =

のこりが

|

を数えます。

上段から見えて全体で7個だから、 $5 \times 7 = 35$

残りが

|

で、36

掛け算が無理なら、

ペアで10として、それが3つですから、30という風に。

後は残りを数えます。(残りは と|で36)

欠点は翻訳の時間です。数字から記号への変換時間です。テストを前提に考えると。子供を引き合いに出すのは、いいことかわかりませんが、足し算ドリルを前にして、うんうんうなってい

ると、「どうにかならないだろうか、かわいそうだ」と思うのです。本当に計算ができないのに、大量のドリルを出されると、苦しんでいる姿を見ると、悲しくなります。ですが、最終的には計算はコンピューターがして、数学的な考えが身につけばいいのだと思います。

実際私も計算が不得意です。電卓を使っているか、すごく長い時間をかけて、割り算などします。  
。2桁はどこかの紙に書いていますので、さがして近日中に公開します。そのあと、引き算となります。

## 2ケタの足し算（2桁と1桁の足し算）

簡単な場合は、繰り上げのない場合だと思います。たとえば

12+5とか11+3など。これは素直に、次のように書いて数えるといいと思います。

書き方ですが、10の位（右から二つ目）これを と書かずに、|であらわすいいと思います。

例) 1 2 +5

| | |

=====

| | |

1 7

1 2 +5 =17

11+3

| |  
| | |

=====

1 4

11+3=14

繰り上がりのある場合は次のようにしてみてもいいのでは。

例) 17+5

この記号に変換するときに、 (=10) を「左におひっこし」と教えています。その時に十の位と一の位の間に線を入れるとわかりやすくなりますが、ここでは書けませんでした。実際に紙に線を入れると、わかりやすいです。それで、10を左にお引っ越しの時、 を消し、十の位に | を書いてください。肝は、ルールはあまり複雑にしないことと覚えることを少なくするのが目的です。ですから、分数に入っても、 と|で解決しています。

| | |

←

=====

|  
|← | |

=====

2 2

同じく

16+8

| |  
| | |

=====

|        |  
| ← | | |  
=====

2        4

$$16+8=24$$

次は2けた2けたの足し算です。だいたい原理は同じです。第2巻に続きます。